

同11年9月ごろから景春は秩父を本拠としてゲリラ戦を展開します。まず、長井六郎らとともに長井城（熊谷市？）に移り、その後、秩父に入っています。同12年正月4日、景春は児玉で蜂起したところ、道灌は塚田（寄居町）に出陣し、扇谷上杉定正とともに景春の飯塚陣に夜襲をかけようと協議しました。景春はそれに気付き秩父へ退きました。20日、景春は越生に進軍しましたが、龍徳寺に滞在していた太田道真に敗れて秩父へ退却しました。このころ、道灌は長井城を大石氏とともに攻め、攻略しました。

このような状況から顕定は、景春の秩父の拠点である日野城（秩父市）攻略のため鉢形城を出陣し、大森（秩父市？）に布陣しました。道灌は6月13日秩父に参陣し、顕定は道灌に日野城を落とすことを命じ、さまざまな謀略を尽くして24日ついに日野城は落城することとなり、景春は成氏のもとに逃れたといわれています。ここに足かけ4年にわたる「長尾景春の乱」がようやく終結しました。

・意義
長尾景春の乱は、当初「山内屋裏の義」といわれたように山内氏内部の抗争という面がありました。太田道灌状にもあるように、単なる反逆ではなく、天子の「錦の御旗」を掲げて討つような大きな争乱と道灌は捉えていたようです。道灌は上杉氏を守る旧体制派であり、皮肉にも守ろうとした主家により非業の死を遂げてしまいました。

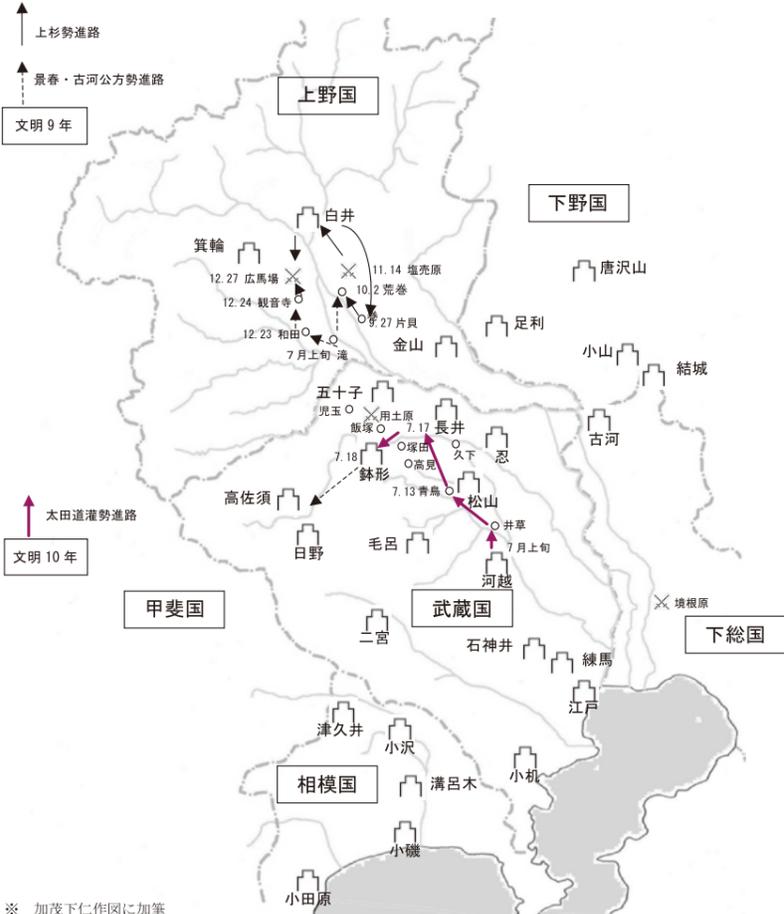
した。景春の乱が成功していれば、越後の長尾為景（景虎、後の上杉謙信の父）や北条早雲のように下剋上に成功し、戦国大名へ成長したと思われる。

4 乱後の景春
道灌死後、両上杉氏は敵対することとなり、それを長享の大乱（1487～1505）と呼びます。長享2年（1488）6月須賀谷原合戦（嵐山町）・11月高見原合戦（小川町）では定正軍が顕定軍に勝利しました。景春は古河公方側として参戦し、定正からは殊勲第一と称される程の武功をあげました。

明応3年（1494）高見原の戦いで定正が急死すると扇谷家の勢力は目に見えて衰え、永正2年（1505）3月定正の養子朝良は顕定に降伏し、一連の争乱は終焉しました。ここで、景春は山内上杉氏に帰属したようです。永正4年、越後国守護上杉房能（顕定の弟）が越後守護代長尾為景によって殺害され、顕定は為景追討のため永正6年7月に関東勢を率いて越後に陣しました。翌年景春は為景・北条早雲に味方して、相模国津久井山に陣を張りました。顕定は越後国で横死する直前に長尾景長にあてた書状で、景春の行動を「不思議の次第」と驚き、「一代両度の不義」と怒りを露わにしています。

その後景春は上野国で活動しますが、やがて没落して、同9年には早雲を頼り駿河国に在陣していたようで、足跡が追えるのはここまでです。雙林

寺に伝わる「御影之記」では、白井城に在城のまま同11年8月24日に72歳で亡くなったとされています。墓所と伝わる供養塔は渋川市空恵寺に存在しています。なお、秩父にも景春の墓と伝わる石造物が法雲寺（秩父市）に存在しています。



長尾氏墓所(渋川市空恵寺)
長尾氏の供養塔である宝篋印塔・多宝塔が17基建立されている

主な展示資料

- 「長尾氏位牌」／雙林寺蔵
- 「雙林寺伝」／上杉定正書状写／国立公文書館蔵
- 「上杉顕定書状」／足利成氏書状／県立文書館蔵
- 「紺糸威餓鬼胴具足」／長林寺蔵
- 「木造太田道灌像(複製)」／川越市博物館蔵
- 「太田道灌状」／國學院大學図書館蔵
- 「太田道灌軍配(複製)」／県立歴史と民俗の博物館蔵
- 「秩父志」／秩父市教育委員会蔵
- 「三嶋神社鰐口」／三嶋神社蔵 他24点

紺糸威餓鬼胴具足(長林寺所蔵)

足利長尾氏の菩提寺である長林寺に伝わる甲冑で、長尾家の家紋である九曜巴紋が眉庇などに施されている。(足利市指定文化財)



開催期間／10月5日(土)～11月24日(日)
休館日／10月7日(月)、15日(火)、21日(月)、28日(月)、11月5日(火)、11日(月)、18日(月)
開館時間／午前9時30分～午後4時30分(入館午後4時まで)
場所／鉢形城歴史館企画展示室
入館料／一般200円、高校・大学生100円(20人以上半額)、70歳以上・中学生以下・障害者手帳をお持ちの方無料

第8回 お月見の会

今年満月です

日時／10月19日(土)午後4時～7時30分
※雨天の場合は翌日

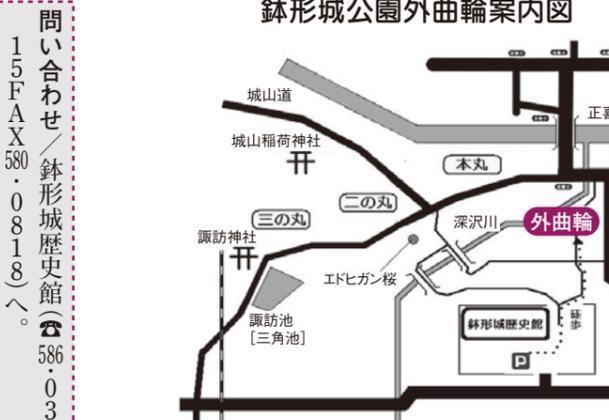
場所／鉢形城公園三の曲輪
内容／箏・尺八の演奏(寄居町箏・尺八の会、野点(裏千家高橋宗房社中))
費用／無料 ※野点は茶席代300円
申し込み／不要
その他／寒くない服装でお越しください。

歴史館 de Jazz #4

【中山英二 スペシャル・ライブ】

鉢形城歴史館主催のジャズ・コンサート「歴史館 de Jazz」。第4回目となる今回は、寄居が世界に誇る孤高のベーシスト、中山英二氏の登場です!

日時／10月14日(月)1stステージ午後2時～、2ndステージ午後3時～
場所／鉢形城歴史館中庭
出演／中山英二(ベース)
小林里枝(アルトサクソ)
峰岸慶典(ギター)
費用／無料(当日は入館料も無料)
申し込み／不要



北条流鎗馬を 行います

日時／10月20日(日)午後2時から1時30分程度
場所／鉢形城公園外曲輪(地図参照)
内容／流鎗馬とは疾走する馬上からの鎗矢を射る日本の伝統的な騎射の一種です。
主催／秋の祭典実行委員会、寄居町
問い合わせ／文化財課(☎581・2121内線54)へ。